

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	情報教育
対象	情報教育サブプログラム

受験番号				

問1 次の文章は、文部科学省の小学校、及び中学校学習指導要領(平成29年告示)、高等学校学習指導要領(平成30年告示)の「総則」の一部である。(①)~(⑤)のそれぞれについて、下の語群の中からあてはまる言葉を書け。

<小学校>
 第3 教育課程の実施と学習評価
 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) (中略) 特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「(①)」という。)が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた(①)を働かせながら、(②)を相互に関連付けてより深く理解したり、(③)を精査して考えを形成したり、(④)を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう(⑤)を重視した学習の充実を図ること。
 (2)~(7)省略

<中学校>
 第3 教育課程の実施と学習評価
 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) (中略) 特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「(①)」という。)が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科等の特質に応じた(①)を働かせながら、(②)を相互に関連付けてより深く理解したり、(③)を精査して考えを形成したり、(④)を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう(⑤)を重視した学習の充実を図ること。
 (2)~(7)省略

<高等学校>
 第3款 教育課程の実施と学習評価
 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) (中略) 特に、各教科・科目等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「(①)」という。)が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科・科目等の特質に応じた(①)を働かせながら、(②)を相互に関連付けてより深く理解したり、(③)を精査して考えを形成したり、(④)を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう(⑤)を重視した学習の充実を図ること。
 (2)~(7)省略

【語群】
 知識 データ 学びに向かう力 問題 意欲 技能 内容 特質・考え方 調査 経験 過程 時期 判断 状況 プログラム 問題
 視点・考え方 計画 プログラミング的思考 自己調整 見方・考え方 デジタル教科書 情報 コンピテンシー 統計資料 見通し
 教育課程 学習課題

【解答欄】
 <解答> ①見方・考え方 ②知識 ③情報 ④問題 ⑤過程

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	情報教育
対象	情報教育サブプログラム

受験番号				

問2 次の用語について、100字程度で説明せよ。

【解答欄】

基本ソフトウェア

<解答例>

コンピュータ等の入出力の制御、メモリやハードディスクなどのハードウェアの管理、プロセスの管理といった、基本的な制御や管理を行うためのソフトウェアのこと。オペレーティングシステムとも呼ばれる。

ルータ

<解答例>

コンピュータネットワークにおいて、データを2つ以上の異なるネットワーク間を相互接続する通信機器であり、通常はOSI基本参照モデルでの物理層からネットワーク層までの接続を担う通信機器のこと。

論理回路

<解答例>

論理回路とは、“ON”と“OFF”（もしくは“0”と“1”）の真偽値を取り扱うデジタル回路において、論理演算の基礎となるAND, OR, NOTの論理素子を論理式や真理値表などを用いて組み合わせて構成する回路のこと。

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	情報教育
対象	情報教育サブプログラム

受験番号				

問3 児童生徒1人1台端末を活用し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点に着目した指導と評価の一体化を目指す授業の本時案を作成せよ。ただし、児童生徒全員がインターネット接続、及び持ち帰り可能な端末を所持しており、かつ主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業とすることを条件とする。本時案の作成に際し、学校種、学年、教科、単元名、めあて（本時）、授業で使用するICT（児童生徒の端末以外）、指導と評価の一体化を目指すための工夫を記述すること。なお、本時は小学校45分、中学校50分、高等学校50分とし、コマ数は1コマあるいは2コマ扱いとする。児童生徒1人1台端末にインストールされているアプリケーションは任意に設定せよ。記述が収まらない場合は4頁の解答欄を用いよ。

【解答欄】

<採点基準>

- ・学校種、学年、教科、単元名、めあて（本時）、授業で使用するICT（児童生徒の端末以外）、指導と評価の一体化を目指すための工夫を記述しているか。
- ・児童生徒1人1台端末を活用する授業が、導入・展開・まとめ（終末）の構成で記述されているか。
- ・児童生徒1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業が展開されているか。
- ・「児童生徒の学習活動」、「教師の支援・留意点」、「ICT機器の活用方法や評価の観点など」が記述されているか。